

# セレモニーにおける女性の服装に関する一研究

— 成人式および卒業式(短大、大学)における女性の服装の実態とその意識 —

## A Research of Japanese Women's Costume in Ceremonies

— of Japanese women's costume at the  
adult-day's and the graduation ceremony —

山本 昭子

### はじめに

一月の成人式または三月の短大あるいは大学の卒業式の風景として、私達が若い女性の華やかな振袖姿を目にするようになったのはいつごろからであろうか。

毎年一月、三月のシーズンになると、振袖批判派あるいは肯定派などに分かれてマスコミ紙上をにぎわすようであるが、近年では、一月、三月の若い女性の振袖姿は日本独得の風俗としてすっかり定着してしまったかの観があり、省エネのかけ声もどこ吹く風と今後もおとろえる気配は見えないようである。

しかし実際には、同じ世代でも成人式に出席しない人々もあり、また、振袖を着用しない何割かの人々が存在することも事実である。

人がどのような服装を選択するにせよ、それなりの理由があると思われるが、女性が社会人となるはじまりの場である成人式や卒業式において、若い女性がどのような意識を持って服装を選んでいるかという実態を知ることは、服装を知る上での一つの手がかりとなるのではと考え、丁度学生達の卒業制作のテーマの一つがフォーマルウェアでもあったことから、学生達を指導しながらアンケート調査を行った。以下のレポートは調査したものを私なりの観点でまとめたものである。

### 調査目的

成人式または短大、大学の卒業式における最近の女性の服装の実態、および今後成人式、卒業式(短大、大学)を迎える女性の式服に対する意識、また若い男性の女性の服装に対する意識を知ることにより、生産消費の両面

から、今後の衣生活への対応を考える。

### 調査方法

〈調査実施時期〉 昭和54年9月10日～14日

〈調査対象〉

調査目的別に調査対象を次の三つのグループに分けて、大分県下の百貨店、銀行の従業員、短大、大学の学生にそれぞれに該当するアンケート用紙を配布し、質問事項に記入してもらい2～3日後に回収した。

- 1) 成人式または卒業式(短大、大学)における女性の服装の実態調査の対象……………大分県に在住する20才～30才までの女性(アンケート用紙配布先及び配布人数…百貨店、銀行従業員450名、大学生100名)
- 2) 今後成人式または卒業式(短大、大学)を迎える女性の服装に対する意識調査の対象……………大分県に在住する18才～20才の女性(アンケート用紙配布先及び配布人数…百貨店、銀行従業員210名、短大、大学生100名)
- 3) 成人式または卒業式(短大、大学)における女性の服装に対する男性の意識調査の対象……………大分県に在住する18才～31才の男性(アンケート用紙配布先及び配布人数…百貨店、銀行従業員168名、大学生180名)

〈調査項目〉

調査対象別に三種類のアンケート用紙を作成したが調査項目は次の通りである。

- I 成人式または卒業式(短大、大学)における女性の服装の実態調査
1. 該当する記号を○印で囲むか、記入して下さい。

- (1) ( ) 才  
 (2) a 学生 b 職業人  
 (3) a 未婚 b 既婚  
 (4) a 高卒 b 短大卒 c 大卒 その他
2. あなたは短大, 大学の卒業式, または成人式いずれかに出席したことがありますか。  
 (1) 卒業式 a はい b いいえ  
 (2) 成人式 a はい b いいえ
3. あなたはその卒業式, 成人式でどのような服装をしましたか  
 (1) a 振袖, b 訪問着, c フォーマルドレス, d スーツ, e 普段着, f その他 ( )  
 (2) 洋服の方は記入して下さい。  
 a 無地 ( ) 色 b プリント
4. 3で答えた服装を選んだおもな理由はなんですか。  
 a 自分に似合うと思ったから。  
 b まわりの人にすすめられて。  
 c 友人知人が着るから。  
 d 経済的だから。  
 e 嫁入り道具の一つとして。  
 f 人からゆずり受けたから。  
 g その他 ( )。
5. あなたは卒業式または成人式のために衣服を新調しましたか。  
 a はい b いいえ
6. 新調した方について, 費用はどれ位かかりましたか。  
 (1) 和服の場合  
 a 10万円未満 b 10~20万 c 20~30万 d 30~40万 e 40~50万 f 50~60万 g 60~70万 h 70~80万 i 80万以上 j その他 ( )  
 (2) 洋服の場合  
 a 1万円未満 b 1~3万 c 3~5万 d 5~7万 e 7~9万 f 9万以上
7. 卒業式または成人式に新調した衣服を, それ以外ではどのような時に, 何回着用しましたか。  
 a 知人の結婚式 ( ) 回 b お茶お花の会 ( ) 回  
 c 正月 ( ) 回 d パーティー ( ) 回 e 入社式 ( ) 回  
 f お見合い ( ) 回 g 自分の結婚式 ( ) 回 h その他 ( ) 回
8. 今考えて, あなたの選択はよかったと思いますか。  
 (1) a 満足している b まあまあ c 後悔している  
 (2) (1)で答えた理由は  
 a その後着用する機会が多いから。  
 b その後着用する機会が思ったより少なかったか

ら。

- c いい思い出になったから。  
 d 自分の個性を生かす服装ではなかったから。  
 e 自分によく似合っていたから。  
 f その他 ( )

II 今後成人式または卒業式(短大, 大学)を迎える女性の式服に対する意識調査。

1. 該当する記号を○印で囲むか, 記入して下さい。

- (1) ( ) 才  
 (2) a 学生 b 職業人  
 (3) a 高卒 b 短大卒 c 大卒 d その他

2. あなたは短大, 大学の卒業式にどのような服装をしたいと思いますか。

- (1) a 振袖 b 訪問着 c フォーマルドレス d スーツ e 普段着 f その他  
 (2) 洋服の方は記入して下さい。  
 a ( ) 色 b プリント

3. 2で答えた服装を選んだおもな理由はなんですか。

- a 自分に似合うと思うから。  
 b 回りの人にすすめられて。  
 c 友人知人が着るから。  
 d 経済的だから  
 e 嫁入り道具の一つとして  
 f 人からゆずりうけるから。  
 g その他 ( )

4. あなたは卒業式または成人式のために衣服を新調したいと思いますか。

- a はい b いいえ

5. 4で新調したいと思った人のみ, 費用はどれ位かかると思いますか。

- (1) 和服の場合  
 a 10万以下 b 10~20万 c 20~30万 d 30~40万 e 40~50万 f 50~60万 g 60~70万 h 70~80万 i 80万以上 j その他 ( )  
 (2) 洋服の場合

- a 1万以下 b 1~3万 c 3~5万 d 5~7万 e 7~9万 f 9万以上 g その他 ( )

6. あなたは卒業式, 成人式のために新調する衣服を, それ以外ではどのような時に何回着用する機会があると思いますか。

- a 知人の結婚式 ( ) 回 b お茶お花の会 ( ) 回 c 正月 ( ) 回 d パーティー ( ) 回 e 入社式 ( ) 回  
 f お見合い ( ) 回 g 自分の結婚式 ( ) 回 h その他 ( )

7. 今後の卒業式、成人式の服装のあり方として、どのような傾向になるのが望ましいと思いますか。

- a 今まで通りでよい。
- b もっと経済的な面を考慮すべきである。
- c もっと質素であってよい。
- d もっと個性的な装いをした方がよい。
- e もっと華美にした方がよい。

Ⅲ 成人式または卒業式（短大、大学）における女性の服装に対する男性の意識調査。

1. 該当する記号を○印で囲むか、記入して下さい。

- (1) ( ) 才
- (2) a 学生 b 職業人
- (3) a 未婚 b 既婚
- (4) a 高卒 b 短大卒 c 大卒 d その他

2. あなたは短大、大学の卒業式、または成人式のいずれかに出席したことがありますか。

- (1) 卒業式 a はい b いいえ
- (2) 成人式 a はい b いいえ

3. 2でいずれかに「出席した事がある」と答えた人のみ、大多数の女性はどのような服装でしたか。

- a 和服 b 洋服 c その他

4. 卒業式、成人式の時の女子の服装をどう思いますか。

- (1) a 好ましい b 好ましくない c まあまあ
- (2) (1)の答を選んだおもな理由はなんですか。
  - a 一生に一席のことだから多少の経済的負担はやむを得ない。
  - b 美しいと思う。
  - c 個性的である。
  - d 華やかでよい。
  - e 経済的負担が大きすぎる。
  - f あまり美しいとは思わない。
  - g 画一的で個性がない。
  - h 華美に過ぎる。
  - i 興味関心がない。
  - j その他 ( )

## 調査結果

I 成人式または卒業式（短大、大学）における女性の服装の実態

(アンケート用紙配布人数550名, 同回収人数 511名, 回収率…93%)

1. 解答者の年令, 身分, 未既婚の別, 学歴

1) 年 令

20才	42名( 8%)	26才	23名( 4.5%)
21才	138名( 27%)	27才	13名( 2.5%)
22才	88名( 17%)	28才	16名( 3.1%)
23才	87名(17.2%)	29才	7名( 1.4%)
24才	58名(11.4%)	30才	3名( 0.6%)
25才	36名( 7%)		

2) 身 分

学生 66名 (12.9%)

職業人 445名 (87.1%)

3) 未婚者の別

未婚者 431名 (84.3%)

既婚者 69名 (13.5%)

無解答 11名 ( 2.2%)

4) 学 歴

高 卒 343名(67.1%) 大 卒 1名(0.2%)

短大卒 101名(19.8%) 在学中11名(12.9%)

2. 成人式または卒業式（短大・大学）への出席の有無

両方共出席	86名(16.8%)	} 計399名(78.1%)
成人式のみ出席	281名( 55%)	
卒業式のみ出席	32名( 6.3%)	
両方共欠席	69名(13.5%)	
無解答	43名( 8.4%)	

3. 成人式または卒業式での服装

1) 服装の種類

振 袖	346名(67.7%)	普 段 着	12( 2.4)
訪 問 着	21( 4.1)	そ の 他	9( 1.8)
フオーマ ドレ ス	30( 5.9)	無 解 答	69(13.5)
ス ー ツ	24( 4.7)		

2) 洋服の場合の色柄

a) 無地 55名 (73.3%)

プリント地 18名 (24%)

無解答 2名 ( 2.7%)

b) 無地の場合の色

黒 15名(27.3%) ベージュ 4名(7.3%)

グレー 6名(10.9%) 紺 4名(7.3%)

ピンク 4名( 7.3%) 白 3名(5.5%)

ブルー 5名( 9.1%) ワイン 2名(3.6%)

その他(グリーン, 茶, クリーム等)12名(21.8%)

山本 昭子

4. 3で答えた服装を選んだおもな理由。

理 由	全 体	振 袖	訪問着	フォー ドレ マ ル ス	スー ツ	普 段 着	そ の 他
自分に似合うと思った	107名 (24.2%)	72 (20.8)	9 (42.9)	16 (53.3)	7 (29.1)	3 ( 25 )	3 ( 25 )
まわりの人に進められて	91名 (20.6%)	85 (24.6)	2 ( 9.5)	2 ( 6.7)	1 ( 4.2)	1 ( 8.3)	0
友人・知人が着るから	98名 (22.2%)	92 (26.6)	2 ( 9.5)	0 ( 0 )	1 ( 4.2)	0 ( 0 )	3 ( 25 )
経済的だから	27名 ( 6.1%)	2 ( 0.6)	5 (23.8)	8 (26.7)	5 (20.8)	3 ( 25 )	4 (33.3)
嫁入り道具の一つとして	41名 ( 9.3%)	40 (11.6)	0 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 4.2)	0 ( 0 )	0 ( 0 )
人からゆずりうけたから	12名 ( 2.7%)	12 ( 3.5)	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )
その他	66名 (14.9%)	43 (12.4)	3 (14.3)	4 (13.3)	9 (37.5)	5 (41.7)	2 (16.7)
計	442名	346名	21名	30名	24名	12名	12名

※その他の理由でおもなもの

- 一度は着てみたいと思ったから (振袖) 12名 (3.5%)
- 成人式に着物を着るのは当然 (振袖) 5名 (1.5%)
- 親をよろこばすため (振袖) 5名 (1.5%)
- 夏に式があったので (フォーマル, スーツ) 5名 (9.3%)
- 学校の規則だったので (フォーマル, スーツ) 5名 (9.3%)

5. 卒業式または成人式のために衣服を新調したか。

- 新調した 424名 (83%)
- 新調しない 87名 (17%)

6. 費用はどれ位かかったか。

1) 和服の場合

10万未満	12名( 3.3%)	40~50万	74名(20.2%)	80万以上	11名( 3%)
10~20万	13名( 3.5%)	50~60万	96名(26.2%)	そ の 他	2名( 0.5%)
20~30万	30名( 8.2%)	60~70万	35名( 9.5%)		
30~40万	68名(18.5%)	70~80万	26名( 7.1%)		

2) 洋服の場合

1万未満	3名( 4.4%)	5~7万	5名( 7.4%)	無解答	16名(23.5%)
1~3万	25名(36.8%)	7~9万	0		
3~5万	18名(26.5%)	9万以上	1名( 1.3%)		

7. 卒業式, 成人式に新調した衣服を, それ以外ではどのような時に何回位着用したか。

服 種	回 数	知人の 結婚式	お花の 茶会	正 月	パーティー	入社式	お見合い	自分の 結婚式	その他
振 袖	1~2回	144名	16	119	13	3	10	1	2
	3~4回	56名	56	5	11				
	5回以上	21名	21		2				
訪問着	1~2回	1名		4	3				1
フォー ドレ マ ル ス	1~2回	1名	11		6	3	6	8	4

セレモニーにおける女性の服装に関する一研究

スーツ	1～2回	3名	1	1	1	1			
	3～4回	1名	1	1	1		2		
	5回以上	2名		1	2				5

8. 1) 今考えてあなたの選択に満足しているか

	振袖	訪問着	フォーマルス ドレ	スーツ	普段着	その他	計
満足している	119名(34.4%)	7(33.3)	12(40)	7(29.2)	0	5(55.6)	150(33.9)
まあまあ	183名(52.9%)	14(66.7)	16(53.3)	14(58.3)	11(91.7)	4(44.4)	242(54.8)
後悔している	44名(12.7%)	0	2(6.7)	3(12.5)	1(8.3)	0	50(11.3)

2) 満足または後悔している理由

a その後着用する機会が多い。

振袖	訪問着	フォーマルス ドレ	スーツ	普段着	その他	全体
57名(15.7%)	9名(42.9%)	10名(33.3%)	12名(50%)	4名(33.3%)	7名(77.8%)	99名(22.4%)

b その後着用する機会が少ない。

振袖	訪問着	フォーマルス ドレ	スーツ	普段着	その他	全体
83名(22.8%)	4名(19.1%)	7名(23.3%)	5名(20.8%)	2名(16.7%)	1名(11.1%)	192名(23.1%)

c いい思い出になった。

振袖	訪問着	フォーマルス ドレ	スーツ	普段着	その他	全体
126名(34.6%)	0	6名(20%)	2名(8.3%)	2名(16.7%)	2名(22.2%)	138名(31.2%)

d 自分の個性を生かす服装ではなかった。

振袖	訪問着	フォーマルス ドレ	スーツ	普段着	その他	全体
10名(2.8%)	0	0	0	0	0	10名(2.3%)

e 自分によく似合っていた。

振袖	訪問着	フォーマルス ドレ	スーツ	普段着	その他	全体
36名(9.9%)	0	6名(20%)	1名(4.2%)	2名(16.7%)	0	45名(10.2%)

f その他(自分の意志でないから関係なし, いいものを買ったので長く使用出来る, 一枚位は必要だと思う等の理由) 計21名

II 今後成人式または卒業式(短大, 大学)を迎える女性の式服に対する意識

(アンケート用紙配布人数310名, 同回収人数212名 回収率68.4%)

1. 解答者の年齢, 身分, 未婚の別, 学歴

1) 身分

学生 75名(35%)

職業人 137名(65%)

3) 未婚の別

未婚者 212名(100%)

既婚者 0名

4) 学歴

高卒 137名(65%), 大卒 0名

短大卒 0名, 在学中 75名(35%)

2. 今後成人式または卒業式(短大, 大学)にどのような服装をしたいと思うか。

山本 昭子

1) 服装の種類

振袖	訪問着	フォーマルス ドレマ	スー ツ	普段着	その他
161名(76%)	2名(1%)	16名(7%)	24名(11%)	6名(3%)	4名(2%)

2) 洋服の場合に着用したい色柄

無地 32名(76%)

ブルー 10名(31%) 赤 5名(16%)

グレー 7名(22%) 白 3名(9%)

ベージュ 4名(13%) 黒 2名(6%)

紫 1名(3%)

プリント柄 10名(24%)

3. 2で答えた服装を選んだおもな理由

理由	全 体	振 袖	訪 問 着	フ ォ ー マ ル ス ド レ マ	ス ー ツ	普 段 着	そ の 他
自分に似合うと思うから	38名 (17.9%)	20 (12.4)	0 (0)	8 (50)	6 (25)	2 (33.3)	2 (50)
回りの人に進められて	44名 (20.8%)	43 (26.7)	0 (0)	1 (6.3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
友人・知人が着るから	46名 (21.7%)	44 (27.3)	0 (0)	0 (0)	2 (8.3)	0 (0)	0 (0)
経済的だから	24名 (11.3%)	3 (1.9)	2 (100)	4 (25)	13 (54.2)	3 (50)	0 (0)
嫁入り道具の一つとして	22名 (10.4%)	21 (13.1)	0 (0)	1 (6.3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
人からゆずりうけるから	5名 (2.4%)	5 (3.1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	33名 (15.6%)	25 (15.5)	0 (0)	2 (12.5)	3 (12.5)	1 (16.7)	2 (50)

※その他の理由でおもなもの

一度は着てみたい(振袖)

記念になるから(振袖)

もっているから(振袖, フォーマル)

4. 成人式, 卒業式のために衣服を新調したいと思うか。

新調したい 157名(74.1%) 新調したくない 51名(24.1%)

無解答 4名(1.9%)

5. 新調する場合 費用はどれ位かかると思うか。

1) 和服の場合

10万未満	0	60~70万	30名(14.1%)
10~20万	1名(0.5%)	70~80万	11名(5.2%)
20~30万	4名(1.9%)	80万以上	7名(3.3%)
30~40万	6名(2.8%)	その他	1名(0.5%)
40~50万	23名(10.9%)	無解答	70名(33%)
50~60万	59名(27.8%)		

2) 洋服の場合

1万未満	1名(0.5%)	5~7万	20名(9.4%)
1~3万	19名(9%)	7~9万	7名(3.3%)
3~5万	33名(15.6%)	9万以上	4名(1.9%)
無解答	128名(60.4%)		

6. 成人式, 卒業式のために新調する衣服を, それ以外ではどのような時にどれ位着用する機会があると思うか。

	1 回	2 回	3 回	4 回	5~9回	10回以上	計
知人の結婚式	24名(16.1%)	41 (27.5)	44 (29.5)	12 (8%)	24 (16.1)	4 (2.7)	149 (70.3)
お茶お花の会	9(40.9)	10 (45.5)	2 (9.1)	0 (0)	1 (4.6)	0 (0)	22 (10.4)
正月	38(35.9)	34 (32.1)	25 (23.6)	3 (2.8)	3 (2.8)	3 (2.8)	106 (50)

セレモニーにおける女性の服装に関する一研究

パーティー	14 (46.7)	8 (26.7)	4 (13.3)	0 (0)	2 (6.7)	2 (6.7)	30 (14.2)
入社式	9 (90)	0	0	0	0	1 (10)	10 (4.7)
お見合	20 (50)	8 (20)	6 (15)	2 (5)	1 (2.5)	3 (7.5)	40 (18.9)
自分の結婚式	23 (85.2)	0	0	0	0	4 (14.8)	27 (12.7)
その他							2 (0.9)

7. 今後の成人式、卒業式の服装のあり方として、どのような傾向になるのが望ましいと思うか。

- 今まで通りでよい。 64名(30.2%)
- もっと経済的な面を考慮すべきである73名(34.4%)
- もっと質素であってよい。 55名(25.9%)
- もっと個性的な装いをした方がよい 41名(19.3%)
- もっと華美にした方がよい 5名(2.4%)

III 成人式または卒業式(短大, 大学)における女性の服装に対する男性の意識

(アンケート用紙配布人数348名, 回収人数291名, 回収率83.6%)

1. 解答者の年齢, 身分, 未婚の別, 学歴

1) 年齢

18才	5名(1.7%)	25才	14名(4.8%)
19才	30(10.3)	26才	14(4.8)
20才	43(14.8)	27才	17(5.8)
21才	52(17.9)	28才	18(6.2)
22才	13(4.5)	29才	18(6.2)
23才	9(3.1)	30才	17(5.8)
24才	17(5.8)	31才	24(8.3)

2) 身分

- 学生 150名(51.6%)
- 職業人 141名(48.4%)

3) 未婚の別

- 未婚者 195名(67%)
- 既婚者 96名(33%)

4) 学歴

- 高卒 109名(37.5%) 大卒 140名(48%)
- 短大卒 0名 在学中 42名(14.4%)

2. 成人式または卒業式(短大, 大学)への出席の有無

両方共出席	51名(17.5%)	} 計170名(58.4%)
成人式のみ出席	68名(23.4%)	
卒業式のみ出席	51名(17.5%)	
両方共欠席	109名(37.5%)	
無解答	12名(4.1%)	

3. 大多数の女性はどのような服装をしていると思ったか。

- 和服 106名(60.6%)
- 洋服 60名(34.3%)
- その他 9名(5.1%)

4. 成人式または卒業式の時の女性の服装をどう思うか

- 1) 好ましい 101名(34.7%)
- 好ましくない 64名(22%)
- まあまあ 104名(35.7%)
- 無解答 22名(7.6%)

2) 1)の答を選んだ理由

- a) 一生に一度の事だから多少の経済的負担はやむを得ない 55名(18.9%)
- b) 美しいと思う 83名(28.5%)
- c) 個性的である 18名(6.2%)
- d) 華やかでよい 76名(26.1%)
- e) 経済的負担が大きすぎる 38名(13.1%)
- f) あまり美しいとは思わない 18名(6.2%)
- g) 画一的で個性がない 45名(15.5%)
- b) 華美にしすぎる 35名(12%)
- i) 興味関心がない 30名(10.3%)
- j) その他 20名(6.9%)

※その他の理由でおもなもの

- 日本女性は和服が似合うので(2名)
- 自分にあった服装であればよい(4名)
- 女性の美しさを見せる数少ない機会だから, 和服など着て着かざるのもよい(7名)
- 女は美しくあるべきだ(3名)

結果に関する考察とまとめ

成人式または卒業式(短大, 大学)における女性の服装の実態調査において, 解答者511名の内, 実際き成人式または卒業式のいずれかに, あるいは両方共に出席したと答えた人は399名(78%)であるが, 実際には出席するつもりであったが事情があって欠席した人, 無解答者等も含めると, 80%以上の人々が体験に基づいて質問に答えているとみて差しつかえないと思われる。

調査結果を見て、予想とほぼ同じ結果が出たのは、設問3において振袖着用者が全体の約68%の比率を占めることと、成人式、卒業式以外に振袖を着用する機会が、知人の結婚式、お正月にほぼ集中しているということである。

また意外であったのは、設問4の服装を選んだおもな理由が、和服も洋服も含めると、自分に似合うと思った107名(24.2%)、友人知人が着るから98名(22.2%)まわりの人に進められて91名(20.6%)が多く、振袖のみをとると、友人知人が着るから92名(26.6%)、まわりの人に進められて85名(24.6%)、自分に似合うと思った72名(20.8%)の順になり、自分に似合うと思ったという理由はうなづけるが、後の二つの理由は自主的な選択理由ではなく、平均して30~60万円もする衣服を購入するにははちょっと考えさせられる。以上の事は自分の選択に対する満足度にもあらわれているようで(設問8)、満足している人119名(34.4%)よりまあまあと考える人183名(52.9%)の方が圧倒的に多い。一方、少数ではあるが洋服を選択した人を見ても、選択理由としては、自分に似合うと思った、経済的だから等の自主性を持ったものの比率が高く、満足度の比率も振袖よりは高くなっている。

結局大多数を占める振袖着用者の満足度の一番高い理由は、いい思い出になったということであろうか。

このことは、人間というもの、装いというものが何か理屈では割り切れないものを秘めているということをつくづく感じさせる。

今後成人式または卒業式を迎える女性の式服に対する意識調査は、まだ実際に成人式や卒業式を体験していない女性の意識を知るためのものであったが、調査結果はほぼ実態調査と同じような傾向にあるようである。

ただ興味深かったのは、今後の成人式卒業式の服装のあり方として、どのような傾向になるのか望ましいと思うかという設問において、これ以外の設問では、40~70

万円もする振袖を選択しようと思う人が圧倒的に多いにもかかわらず、今まで通りでよい64名(30.2%)に比べて、もっと経済的な面を考慮すべきである73名(34.4%)、もっと質素であってよい55名(25.9%)、もっと個性的な装いをした方がよい41名(19.3%)等の現状批判の意見が合せて80%近くもあったことである。建前と本音のくい違いが如実にあらわれているといえよう。

女性は常に男性の目を意識して装うものであり、逆に言えば、男性の目が女性の装いを変えさせるとも云えるが、同世代の男性が、成人式または卒業式における女性の服装をどのようにみているかを調査したのがIIIの調査である。調査対象は、年齢(18~31才)、身分(学生、職業人)学歴ともバランスよく構成されており、調査結果は、ほぼ平均的な若い男性の意識がでているとみてよいと思う。

解答者の年齢構成上、成人に達していない人が11%いるが、実際に成人式か卒業式に出席したことのある人は58.4%で、女性よりは式に対する関心は低いようである。

成人式、卒業式の時の女性の服装に対して、好ましいと答えた人は34.7%で、まあまあの35.7%とほぼ同数であり、好ましくない22%に比べて現状肯定派が圧倒的に多かったのは意外であった。

また好ましい理由として、美しいと思う、華やかでよい、一生に一度のことだから経済的負担もやむを得ないなどの現状賛美者が多数を占めることも意外である。

一方、経済的負担が大きすぎる、画一的で個性がない、華美にすぎるなどの批判もかなりあることも見逃がせないことである。

今回行った調査は、調査対象を大分県に在住するものに限定し、アンケート用紙配布先が、大分市、別府市の百貨店、銀行の従業員、学生に集中してしまったので、この点において調査結果は、地域的偏向がややみられるかも知れないことを付記しておきたい。